



PHOTO REPORT 2025

私が日頃
どのような活動をしているのか
その一部をご紹介します！



5月
May
お祝いの席で。誰だかわかりますよね



7月
Jul.
松岡ひさし氏 旭日単光章 受章祝賀会



8月
Aug.
アメフトチームと木村知事表敬訪問



12月
Dec.
恒例の白山校区もちつき大会



2月
熊本城マラソンでの交通整理



3月
大切な行事の町内防災訓練



5月
中学校体育大会での挨拶



5月
企画した白山春の祭りは大盛況



6月
こども食堂へ寄付金贈呈



7月
猛暑の証 46°C



8月
広島市電の視察にて



8月
出水中学校区ふれあい清掃に参加



9月
白山校区6町内の薬師堂祭りにて



10月
市PTAバレー大会に参加



10月
8月の大雨による被害調査(出水南地区)



11月
話題の東京都麹町中学校を視察

高本 一臣

熊本市議会議員(中央区)
自由民主党熊本市第11支部長

1964年 山都町生まれ
1999年 参議院議員公設秘書
2007年 衆議院議員秘書
2011年 熊本市議会初当選
2023年 4期目当選

- ・環境水道委員会委員
- ・庁舎整備に関する特別委員会
- ・防衛議員連盟会員
- ・政令市木材利用促進議員連幹事
- ・熊本ヴォルターズ支援議員連盟会長
- ・ロアッソ熊本支援議員連盟
- ・市交通指導員白山副支部長
- ・白山消防団団員
- ・白山校区スポーツ協会地域指導員
- ・白山野球クラブ代表(小学生チーム)

後援会ご加入のお願い

主に、後援会活動や議会だより発行の経費等に使用させていただきます。勿論「議会だより」はもとより、その都度いろんなご案内をさせていただきます。各年毎の更新となりますが、ご協力頂けます方は高本一臣 後援会事務局までご一報ください。

お振込先

後援会【年会費】
一口 2,000円

- ▶ 郵便局 01770-4-137793 高本一臣後援会
- ▶ 肥後銀行水前寺支店 普通口座 1648898 高本一臣後援会 代表者 高本一臣

お振り込みは、銀行・郵便局のどちらでも構いません。

高本一臣 事務所

〒862-0958 熊本市中央区岡田町5-1-102号 Tel.096-223-5480 Fax.096-223-5482
(Eメール) wakideruchikara@gmail.com (ホームページ) http://takamoto-k.com

市政についてのさまざまなご意見・ご要望をお待ちしております。

高本一臣議会だより

政清人和

令和8年
新春号
2026

Seiseijimwa

たかもと かずおみ
熊本市議会議員の 高本一臣です。

皆さまにおかれましては、新たな年を健やかに迎えられたことと存じます。

昨年は、大阪・関西万博の開催や日本初の女性総理・高市早苗氏の誕生、身近なところでは、コメの価格が高騰し、私たちの暮らしに影響を及ぼすなどの出来事がありました。

本市では、温暖化の影響で8月の記録的豪雨による被害、熊本市電の相次ぐ事故など、多くの課題を与えられた一年でした。

西暦2026年、令和8年の干支はご承知の通り60年に一度巡ってくる丙午(ひのえうま)です。丙午は火の要素を二重に持つことから、情熱や強さを象徴する特別な年と伝えられています。

この議会だよりが届いている頃には、衆議院の解散総選挙が執行されているかもしれません。国の安定を願いながら、これまでも、これからも政治屋でなく政治家として、驕り高ぶることなく市政の課題解決に全力を傾注してまいります。

皆様にとりましても熊本市にとりましても、令和8年の特別な年が災害のない、そして日々の暮らしが不安なく過ごせ、前向きな気持ちになれる明るい一年になりますようお願いしています。

【政清人和・せいせいじんわ】

「政(まつりごと)清ければ人おのずから和す」
出身地でもある旧清和村の村名は、
この2文字を得てつけられました。私の政治信条です。

Takamoto
Kazuomi

市政報告会のお知らせ

地域の課題と新年度事業について

日時 令和8年3月22日(日) 11:00開会

場所 白山コミュニティセンター
熊本市中央区白山1-10-12 TEL371-4466

終了後
懇親会を行います
(会費1000円)

参加を希望される方は事務局までご連絡ください TEL.223-5480

皆さまのご参加を
心よりお待ちしております

▶ 市有施設の有効活用について

教育委員会など多くの部局が本庁舎に入れず、周辺の民間ビルに入居しています。本市が支払っている年間賃借料（共益費など含む）の合計金額は約2億円となっております。既存施設を有効活用する観点から、新設校の天明みらい学園に伴い閉校する銭塘小学校に移転してはいかがでしょうか。

市長答弁

塘小学校の閉校後には、学校給食共同調理場を新設する予定。その後の活用については、地域の皆様は地域交流の場などを望まれており、検討しているところ。閉校後の施設については地域の大切な財産として有効に活用してまいります。

｜ 答弁を聞いて ｜

住民の望む地域交流の場を設けて、市役所の一部の部署が入っても十分に対応可能な校舎スペースだと、実際見てきましたので断言できます。
部局の一部が移転すれば、年間約2億円近くの賃借料が削減でき、その分を小中学校体育館の空調設備に充てるなど有効活用が可能です。

▶ 白山・出水・出水南校区の 浸水解消対策について

当初のスケジュールによると、八王寺通り周辺は令和10年度に完成予定、熊本中央病院周辺地区は、事業の完成が令和13年度と予定されています。この地区は昨年の8月豪雨でも大きな被害を受け、対策は待ったなし。住民の皆さんの期待も大きい事業ですので、順調に進んでいるのか事業進捗状況についてお尋ねいたします。

都市建設局長答弁

お尋ねの両地区は、重点的に対策を進める地区として位置づけている。出水・国府地区は、雨水管整備に必要な用地確保や、周辺学校等との協力構築に向けた交渉や協議を行っており、実施設計に入る予定。熊本中央病院周辺地区は、雨水貯留管整備の地質調査、関係機関との協議を行うなど計画に沿って準備を進めている。

｜ 答弁を聞いて ｜

スケジュール通りという答弁がなかったのは当初の予定よりも遅れているのだと推察しました。市長は前回の選挙演説において、この地域の浸水対策を必ず行うと約束されました。せめて事業完了までのスケジュールを示してくれと住民の方々も少しは安心されますので、強くお願いをしました。

そのほか以下の質問をさせていただきました。

- ▶ 成長を続ける福岡市と熊本市の連携について
- ▶ 自動車運転マナー向上条例（仮称）の必要性について
- ▶ 議会全会一致で採択された請願、市立図書館の書籍購入方法の進捗について

高 本 一 臣

一般質問

令和7年第4回定例会（12月3日）

令和7年・12月議会での 一般質問を行いました。

掲載は一部抜粋したものです。
詳しい内容は「熊本市議会」で
検索してください。

検索はコチラから



▶ 県営野球場移転整備について

県のスポーツ施設検討会議による提言書では、県営藤崎台野球場は、施設・設備の老朽化などから、移転再整備が最も適当であるとされました。藤崎台野球場が移転整備されることになれば、本格的な野球場が本市から無くなる可能性が出てきました。移転先は熊本市が積極的に手を挙げるべきだと思いますが、いかがでしょうか。

市長答弁

令和8年度には移転先選定に向けた公募を行う予定と伺っている。本市への新たな硬式野球場の誘致に向けては、市民のニーズの把握や適地の有無等を調査することが必要であると考えており、準備を進めている。県が示す公募の条件や本市が実施する調査の結果等を踏まえ最終的な判断をしたい。

｜ 答弁を聞いて ｜

ニーズの把握などの調査をする準備をこれから進めるということですが、正直言って今頃ですか？と遅過ぎることを指摘しましたが、誘致に対する本気度が見えません。野球場整備については、やれない理由はあっても、やらない理由はありません。誘致に向けて早急に準備を進めることを強くお願いしました。

▶ 県営藤崎台球場について

提言書では、県営の野球場として残すことは難しいが、他県に比べ硬式野球数が少ない現状を考えると引き続き残すことが望ましいので、熊本市と検討するよう意見されています。本市が県営野球場を誘致しなければ、本格的な野球場がなくなります。手を挙げないのであれば、藤崎台野球場は本市が運営すべきではないでしょうか。

市長答弁

県が管理する野球場であり、その取扱いは熊本県が主体的に判断されるべきことではあるが、存続に関しては老朽化の現状、改修や毎年の維持管理に要する費用、将来的な解体に要する経費、熊本域内にあるという立地特性などを総合的に判断する必要があると認識している。

｜ 答弁を聞いて ｜

明確な答弁でなかったのは残念でした。市長は野球などのスポーツには興味がないのでしょうか。野球場としてだけでなく、オフシーズンでも活用できるよう設備の改修をすれば、まだまだ十分価値のある施設です。県営藤崎台球場が仮に無くなれば、その失望と反響はとても大きいものになるでしょう。

▶ 全国学力・学習状況調査の 結果と課題について

令和7年の4月に実施された小学6年生と中学3年生を対象とした全国学力テストの結果は、全国平均よりも高いのか低いのか、お示しください。学習状況調査では、本市が目指す「自らが考える教育」と子どもたちとの実態が乖離しています。学校現場との信頼関係に基づく連携が不可欠だと思いますが見解をお尋ねいたします。

教育長答弁

小学6年生については、国語、算数、理科のいずれも全国より低い結果となっている。中学3年生については、国語は全国と同じ、数学は低い、理科は高いという結果。学習状況調査については結果を踏まえ、課題改善に向けた研修の実施、授業づくり支援訪問等により、各学校の実態に合わせた取組を支援してまいります。

｜ 答弁を聞いて ｜

前回の質問で、タブレット端末などの使用頻度が高い児童生徒ほど、学力テストの正答率が高いという結果が得られていると答弁されたのに、タブレット活用率が全国トップクラスの本市の成績は、ほとんどの教科が全国平均以下でした。なぜでしょう？成果を出せていない政令市と言わざるを得ません。検証が不十分だと指摘をしました。

▶ こどもの虫歯状況について

令和2年時の幼児期の虫歯罹患率は1歳6か月児、3歳児ともに政令都市最低でした。私は当時、対策として妊婦歯科健診時において生まれてくるこどもへの予防の指導と啓発や、フッ化物塗布の実施回数の見直しなど4点の取組の必要性を提案しました。提案が実行されていれば、幼児期の虫歯罹患率は改善されていると確信しますが、直近の幼児期の虫歯罹患率とこれまでの取組をお示しください。

健康福祉局長答弁

令和5年度における幼児期の虫歯罹患率は1歳6か月児、3歳児のいずれも指定都市中最下位から17位となり、状況は改善している。これまでの取組も、妊婦歯科健診を受診者に対して、生まれてくるこどもの虫歯予防の重要性について、歯科医師や歯科衛生士による指導を実施してきた。

｜ 答弁を聞いて ｜

虫歯罹患率は1歳6か月児が2.1%から0.8%、そして3歳児が17%から10.2%へといずれも減少、改善されました。提案させていただいた施策についても確実に取組まれており、ご尽力いただいている歯科医師会、保育園、本市関係職員、そして忘れてはならないのが地域で活躍されている8020推進員の皆さまに感謝を申し上げます。